

R7円山小学校スクールプランについて

日頃より円山小学校の教育活動に、ご理解とご協力をいただき大変感謝しております。ありがとうございます。今年度、本校では子供たちがこのような力をつけてほしいということや、そのためにどのような手立てで取り組んでいくのかについてスクールプランを作成しました。今回はそのスクールプランについて簡単にご説明いたします。



令和7年度 福井市円山小学校スクールプラン

児童の実態 ◇素直で優しく、親切にできる ◇のびのびしていて、人なつっこい ◇自分の思いや考えを積極的に表現することが苦手	【学校教育目標】 生命を尊び、自主と創意にみちた人間性豊かな児童を育成する	福井市学校教育目標 「郷土福井に誇りをもち、たくましく生きる子どもの育成」
保護者や地域の願い ◇明るい元気なあいさつができる ◇思いやりの心をもち、自分も友だちも大切にできる ◇安定した学力を身に付けている	【めざす学校像】 ・明日が待ち遠しくなる学校（自分らしさを発揮できる学校） ・保護者や地域が誇りに思える学校（信頼されともに育てる） ・教職員がやりがいのある学校（協働体制と同僚性）	大東中学校区教育目標 学びとつながる、人とつながる、心がつながる学校づくり
	【めざす円山っ子像】 たくましい子 考える子 働く子 思いやりのある子	円山小学校研究主題 夢に向かって、たくましく生きる円山っ子 ～つながる探究的な学び～

わかる授業づくり （学びとつながる）	心づくり・体づくり （自分や他者とつながる）	信頼される学校づくり （社会とつながる）
○探究的な学びの推進 ○基礎的・基本的な学力の定着 ○ICTの積極的・効果的な活用	○多様性を認め合う心と態度の育成（自分も大事 他人も大事） ○健やかな体づくり ○いじめ、不登校の未然防止	○安全・安心な学校づくり ○家庭や地域との連携推進 ○園小中の連携推進
◇わくわく感のある魅力的な学習課題の設定 ◇総合的な学習の時間を軸とした円山版カリキュラム・マネジメントの作成 ◇「わかる喜び」「できる楽しさ」のある授業づくりの推進 ◇学びのルールづくりと確実な定着 ◇個に応じた指導と支援	◇違いを互いに認め合い、多様な考えを生かし合おうとする心と態度の育成 ◇自己有用感や自己肯定感を育むための、委員会活動や学級係活動の工夫 ◇運動ができる環境づくりと基礎体力向上に向けた授業の工夫 ◇「心元氣かな」アンケートやSCを活用した教育相談の充実 ◇児童情報の共有と迅速対応	◇家庭・地域と連携した安全意識と防災意識の高揚 ◇二言あいさつ、返事、無言清掃、整理整頓、靴そろえ等の基本的な所作の凡事徹底 ◇学校HPや各種たより、学校公開等で継続的に情報を発信することで、学校に対する理解と協力を得る ◇地域素材（人・もの・こと・情報）活用の工夫と充実 ◇園小・中学校区の連携

・授業の中で、課題の解決に向けて、自分で考え自分から取り組んでいる（児童95%以上） ・授業がよくわかる（児童97%以上） ・発達段階や一人一人の児童に応じた授業づくりに、熱心に取り組んでいる（教職員100%）	・学校へ通うのが楽しい（児童95%以上） ・自分は誰に対してもいやなことを言ったりいやなことをしたりしない（児童95%以上） ・関係機関と連携をとったり、校内の情報を共有したりして、課題を抱える児童に十分な支援を行っている（教職員100%）	・学校は子どもたち一人一人を大切に、温かく指導している（保護者93%以上） ・進んであいさつができる（児童95%以上） ・学校は「PTA総会」「懇談会」「学校だより」「学年だより」等を通して、保護者に教育方針や教育内容を適切に伝えていく（保護者95%以上）
---	--	--

教職員にとって
「働きがいのある学校」
チーム円山

○全教職員が同じ方向に向かい、それぞれの立場で持ち場を守る協働体制
 ○プロとしての自信をもち、個性を発揮しながら互いを支え合う同僚性
 ○Work-Life Balance（仕事も大事 自分の時間も大事）

【よりよい教育を提供するための「働き方改革」の推進】
 ・出勤時刻選択制（フレックスタイム） ・放課後の時間を確保するための校時設定
 ・教科担任制の推進 ・積極的な業務推進日の設定 ・Teamsによる情報提供と情報共有
 ・カリキュラムマネジメントによる授業の充実 ・ノー残業デー（水曜日）の遵守
 ・「働き方改革」の保護者、地域への情報発信と協力依頼

時間外勤務 前年度の10%減

公私ともに元気な教職員

1 はじめに1つめの柱である「わかる授業」についてご説明します。

本校の今年度の研究テーマは「夢に向かってたくましく生きる円山っ子」です。サブテーマを「つながる探究的な学び」とし、授業改善に取り組んでいます。探究的な学びとは、「問いをもつ」-「調べる」-「深める」-「表現する」の4つの過程を繰り返すことで、新たな課題や思考が更新され続ける課題解決型の学習です。今年度は、昨年取り組んだ「課題設定（問いをもつ）」の研究を生かしながら、探究的な学習における4つの過程のつながりを意識した研究に取り組んでいきたいと考えています。また、子供同士のつながり、教師や先人、地域や歴史とのつながりなど、様々な「人・もの・こと」とつながることで得られる情報というのも、子供たちの学びをより深めるものと考えます。（夏休みの宿題においてもこれらの力の育成にチャレンジしたいと考えています。詳しくは6月27日（金）発行の「まどかっこ」でお伝えします。）

その探究的な学びが、児童の主体的な学びになるよう、わくわく感のある魅力的な学習課題を探っていきます。また、探究的な学びを支える基礎学力の定着が図れるよう、毎日の1時間1時間の授業では「わかる喜び」や「できる楽しさ」を実感できる授業づくりを推進します。昨年作成した教科等横断的な視点での教育課程の編成を、さらに充実したものにしていきます。

たくさんの児童が同じ教室で学習する以上、約束事は必要です。自分も友達も集中したより良い学びの時間となるように、話の聞き方や持ち物のルール等の確実な定着を図ります。

2 次に「心づくり・体づくり」です。

学校というところは、安全で安心できる場所でなければなりません。自分の考えや思いを遠慮や気兼ねすることなく堂々と表出できる学級の風土があり、やりたいことを自由にチャレンジできるような、誰もが自分らしく生き生きと輝く場所であってほしいと思っています。それには、それぞれの違いを互いに認め合い、多様な考えを生かし合おうとする気持ちをもつだけでなく、相手にそれが伝わる態度や行動ができるよう、学校生活全体で育てていきます。たくさんの人間が集まって生活していく中で、互いに気持ちよく過ごせることはとても大切なことです。本校では、アンケートやスクールカウンセラーとの面談等を活用して、いじめや不登校の未然防止、早期発見、早期対応を心がけるとともに、児童に関する情報について適宜教職員で情報共有し対応しています。

3 次に「信頼される学校づくり」です。

学校の中での出来事というのは、家庭や地域から見えにくい部分もあるかと思います。学校の教育活動にご理解とご協力をいただくために、学校HPや各種お便り等を通して、できるだけ学校の教育方針や教育活動を家庭や地域に開いていきたいと考えています。

5月には交通安全教室や自転車教室、高齢者疑似体験、公民館見学、6月のリゾート米の田植えや、本の読み聞かせといった行事だけでなく、毎日の登下校の見守りでも大変お世話になっています。ありがとうございます。他にも家庭や地域のご協力があってこそこの活動も少なくありません。こういった体験や異年齢での活動、家庭や地域からの学び等を大切に、社会とつながる学習を目指しています。地域の資源を最大限に活用して、子供たちの学びを豊かにしていきたいと考えています。

スクールプランについては、現在、円山小ホームページでもご覧いただけます。